

地方自治論ゼミナール

沖 田 哲 也

都市構造の変容と住民自治意識の検討

このテーマを中心に、文献講読をすすめ実態視察を加えて都市社会を研究しようとするのが、ゼミの課題である。都市とは何かを求めねばならないが、これに取り組みだしたら都市問題のいわゆる面、つまり領域が広いだけに解明のいとぐちさえもさがしだせない有様になる。ここでは、居住する人、来住してきた人がそれぞれの生活利益の追究にどう取り組み、何を得ていったかをつかみ、その行為の間に作り上げられた生活領域への意識を求めてみる。その意

識が、次に、エミューニティ自治の既存のモデルに当てはまるか否か、否なれば、その新しいモデルは何であろうかを考えてみる。こうした手順で検討するのではあるが、学生は最後の結論をつかみ得ないまま学窓を去る。しかし実社会の日常の職業活動のなかから、少しずつ結論が見出せるような気がします、と逐次就職先から便りをくれる。楽しいことである。